

鈴木豊ゼミナール

HP <http://www2.mt.tama.hosei.ac.jp/~yutaka/>

【テーマ】(詳しくは下記の「ゼミ生による紹介文」を参照)

ゲーム理論とその応用。企業と組織の経済学。契約理論。応用ミクロ経済学。

【テキスト】

マクミラン『経営戦略のゲーム理論』、武藤『ゲーム理論入門』、中山ほか『ゲーム理論で解く』、ミルグロム+ロバーツ『組織の経済学』、ラジャー『人事と組織の経済学』、梶井+松井『ミクロ経済学：戦略的アプローチ』等。今年は、岡田章『ゲーム理論・入門』(有斐閣)を前期～夏合宿で読了しました。

【ゼミ生の進路】

金融、メーカー、流通、出版、運輸、IT、マスコミ(番組制作)、公務員、大学院(東大2、法政、一橋、早稲田)→経済学者(大学教員)3名など。「多様」です。

金子俊介(第13代ゼミ長：三菱東京UFJ銀行内定)

〔最新の理論『ゲーム理論』を武器に〕

私は幸運にも今までに3人の恩師に出会い、自分の道を決めていく上で多くの手がかりを頂き、自信を持って歩んでくる事が出来ました。その中でも大学生活の軸となったゼミの教授・鈴木豊先生には大変お世話になりました。これから鈴木ゼミがどのようなゼミであるか、先生の魅力を交えながらお伝えしていきたいと思います。

鈴木ゼミでは、ゲーム理論を中心にミクロ経済学、契約と組織の経済学などについて勉強します。応用だけでなく基本的なところから勉強できるので、意欲とある程度の知性があれば大丈夫です。授業は2,3年生の合同で、文献講読が中心。テキストの章ごとに担当のゼミ生がレジュメを作成し、発表します。分からない事や質問があれば、きりの良いところで一度止めて教授も交えてディスカッションを行います。先生にスイッチが入ると「実際の企業の例や関連する時事問題など色々な話題を提供して頂ける」ので、自分の考えを深めていく機会が多くあります。08年度は『人事と組織の経済学』と『ゲーム理論入門』の二冊のテキストを併用して、2年生が基本を3年生が応用を担当しバランスをとって進めていきました。ゼミ合宿やBBQなどのイベントは学生が中心になって企画し、教授はそれに妥当性を見出して応えてくれます。私たちの場合、合宿ではセミナーハウスを使わずに九十九里浜で行い十分にリフレッシュしてゼミ生・教授と親交を深め、アットホームな雰囲気の中でゲーム理論への理解を深めました。

ところで、皆さんは『ゲーム理論』をご存知ですか？ゲーム理論とは簡単に説明すると相互依存関係にある[国家・企業・個人]などをプレイヤーに置き換えて、シンプルな論理で、合理的に状況を整理して最適な意思決定を分析する理論です。また、ゲーム理論関連の研究者が1994年のナッシュ博士を皮切りに96年、01年、05年、07年とノーベル経済学賞を10人以上も受賞している最新の経済学理論です。MBA(経営学修士)にも多く取り入れられていて、ビジネスにおける意思決定ツールとして利用されています。それもあってか

就職活動では『ゲーム理論』に興味を抱いてくれる企業が多くあります。私も含めて多くのゼミ生がそれをきっかけに、または決め手に採用されています。

ゼミに対する考え方は人それぞれですが、「ゼミに積極的に参加して盛り上げていきたい」「きちっと勉強して思考力を高めていきたい」人にはおススメです。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

【ゼミ生の声】

・先輩たちは優しく、難しい問題や話し合いでも、ペースを合わせてくれて、とても馴染みやすいです。(2年 YH)

・『勉強するときは勉強、遊ぶときは遊ぶ！！』授業中とそれ以外とのメリハリがあるゼミです。(2年 HW)

・生徒の意見、感想、質問などにしっかり対応してくれるので、学年にかかわらず、発言のチャンスがあります！！(2年 AY)

・そして・・・何ととっても、イケメン・美女多数！！